

【登園後の活動】

実践①

設定保育が始まる朝の15分程度、以上児で運動遊びをしている。両足ジャンプ、ケンケン等の運動の基礎となる動きを中心にサーキット遊び・様々なやり方のリレー・赤白のマーカーを使った遊びを取り入れて、5歳児、4歳児、3歳児の順番に遊ぶ。

運動遊びは、危険察知能力や身体機能の向上についても有効であると考えられる。5歳児がしている時に4歳児3歳児はどうやってするのかということに応援しながら見ることで見通しが持て、楽しく体を動かすと共に「楽しかったな～!」、「またこれやりたいな～」と友だちと気持ちを共有し充実感を味わっている。

また3歳児の中でどうしてよいか分からない子がいると5歳児がそばまで行って「こうするんやで」と一緒に体を動かして見せたり、「すごいすごい」と励ましの言葉が自然と出だりと優しい心も育っている。そんな5歳児の姿に対して3、4歳児は憧れの気持ちを持つ子もいる。

実践②

園庭遊びや運動遊びなど、体をのびのび動かして遊ぶ時間を朝イチから持つことで、クラスタイムでは落ち着いて話が聞けるようになった。